

自律した学習者になる

大町市立仁科台中学校 学校だより

NO. 1 令和3年 4月 6日 (火) 発行

文責：永田 治 (教頭)

校長先生のお話 4月 6日 (火) 1学期始業式 より

109名の1年生が本日入学します。新1年生と先ほど紹介した先生方を迎えて、令和3年度の仁科台中学校がスタートします。1学期の始業式(しぎょうしき)にあたり、今年度の仁科台中学校の学校づくりについてお話します。

今年度、本校は「聴く学校」を理想の姿とします。学校は、生徒のみなさんが、学び合い育ち合うことを学習指導と生徒指導を専門職とする教師が保証する空間です。そこでは、お互いが、かけがえのない大事な存在であることを認め合うことが重要です。そのために、「聴く」ことが基本であると考えます。

「聴く」とは、「耳を傾け、相手の心に寄り添いながら聴く」ことです。これを「傾聴」といいます。この「傾聴」は、音や言語を情報として耳に入れる「聞く」よりも、相手とつながろうとする意志をもつものです。生徒のみなさんが、安心して学校の先生とともに学び続けるために、学校の先生が「目の前の生徒を丸ごと受け止め、生徒のよさをその生徒の全体としてとらえ、生徒に伝えていく」ことが求められます。生徒のみなさんも、先生方も、自分の今の行いが「聴く学校」につながっているかを、いつも考えてほしいと思います。

全校のみなさんに伝えます。自分らしく、自分のよさをのばしていきましょう。学校の先生の、相手の心に寄り添いながら聴く「傾聴」と優しく温かい言葉をかける「愛語」による姿は、生徒のみなさんにとっても、関係づくりのモデルとなり、みなさんの自己有用感を育み、学ぶ意欲を高めていくことでしょう。生徒と先生がともに学ぶ学校という空間を、相手の心に寄り添いながら聴く「傾聴」と優しく温かい言葉をかける「愛語」を基本としたお互いが居心地のいい空間にしたいのです。

本校は、昨年度から教育目標を「自律した学習者になる」としました。今はまさに、答えのない先が見えない時代といわれています。この時代に必要な力は、自分に必要な学習を自覚し自分から進んで取り組む「自己調整学習力」です。「自己有用感」を育み、学ぶ意欲をもった生徒は、「自己調整学習力」を身につけることで

『自律した学習者』となります。

そこで、全教科・全領域で大町市の進める対話を基盤とする「協働の学び」を取り入れます。そこでは、自分の考えと違う考えを持つ友との対話を通して、自分の解決策を見つめ直したり、更によりよい考えや方法を創り出したりしていく深い学びが現れます。その深い学びによって筋道立てて考え適切に伝える力、「論理的思考力」が養われます。

仁科台中学校で伸ばしていこうとする力は、次の3つです。

自己調整学習力…「自分に必要な学習を自覚し、進んで取り組む力」

論理的思考力 …「筋道立てて考え、気づいたことを適切に伝える力」

自己有用感 …「自分のよさを生かして、人の役に立とうとする力」

令和3年度の仁科台中学校は、「聴く学校」を合言葉とする学校づくりと、自己調整しながら問いを追究する「協働の学び」を軸とした授業を通して、『自律した学習者』を育成します。

もう一つ大事な話をします。「仁」についてです。体育館の左上に大きな額が掲げられています。これは、50周年の折に、寄贈されたものです。学校生活の基本は、生徒のみなさんも先生たちも「命・人権を大切にすること」「差別をしないこと」「悪いことをしないこと」です。人を差別する心を完全に消し去ることはできないかもしれませんが、

そのことを意識すれば、差別をしないことは誰にもできます。
差別とは、人をいじめること、仲間外れにすること、ばかにすることです。
これは、人として許されない行為です。SNSでもしてはいけません。

全校のみなさんが、何か心配なことや相談したいことがあるときは、学校の先生に相談してください。校長の私でもいいですし、保健の先生でもいいですし、学級担任の先生や学年の先生、教科の先生、だれでもいいです。相談しやすい人に相談してください。ちゃんと「耳を傾け、みなさんの心に寄り添いながら」聴きます。

仁科台中学校の校章を見てください。校章の由来を調べますと、「仁」の字を象って人偏をくとし、つくりの二をくとした。とありました。仁科台中学校の校章には「仁」が表されています。「仁」とは「人を思いやる気持ち」のことで、人としての正しい生き方を示す言葉です。私たちは、自分の命を守り、お互いの命や存在を大事にし、安心・安全な学校生活を送る責任があります。このことは「仁」の心を大切にすることです。

全校のみなさんで「仁」の心を大切にして、学習に取り組み、中学校生活を送っていきましょう。

よろしくお願ひします

本年度転入職員を紹介

令和3年度のスタートにあたり、以下の職員を仁科台中学校にお迎えしました。保護者・地域の皆様には、温かいご支援をいただきたいと思ひます。

職員氏名	担当	前任校等	
荒川 裕紀	あらかわ ゆうき	数学	松本市立松島中学校
栗林 正幸	くりばやし まさゆき	国語	大町市立八坂中学校
田中 祐貴	たなか ゆうき	国語	伊那市立長谷中学校
幅下 慧	はばした けい	数学	大町市立大町西小学校
本藤 拓哉	ほんとう たくや	保健体育	小布施町立栗ガ丘小学校
宮川 康浩	みやがわ やすひろ	数学	松川村立松川中学校
矢口 高士	やぐち こうし	社会	大町市立美麻小中学校
山崎 敬二	やまざき けいじ	英語	白馬村立白馬中学校
平林 伸一	ひらばやし しんいち	研修 Co	小谷村立小谷中学校
荒井 由和	あらい よしかず	校務員	大町市役所

お知らせ

スクールセクハラなど相談窓口について

人権全般にかかわる相談窓口を養護教諭が担当します。他職員でも大丈夫です。
相談は、心の教室相談員やスクールカウンセラーも担当します。体罰等、職員にかかわる相談にいつでも応じます。校長または教頭にご連絡ください。